

会議録

| | |
|--|---|
| 会議の名称 | 第2回 西東京市地域コミュニティ検討委員会 |
| 開催日時 | 平成25年7月16日(火曜日) 午後6時30分～8時30分 |
| 開催場所 | 西東京市役所 田無庁舎 5階503会議室 |
| 出席者 | 委員：伊村委員（委員長）、伊藤委員（副委員長）、工藤委員、栗山委員、幸内委員、菅野委員、鶴野委員、土谷委員、土方委員、井手委員、志村委員、岡村委員、丸山委員、伊藤（光）委員 事務局：協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主事、企画政策課、危機管理室、生活福祉課、高齢者支援課、教育指導課、株式会社エックス都市研究所 |
| 報告事項 | 1 自治会・町内会現状調査（平成25年度）について |
| 議題 | 1 （仮称）地域協議体の参考事例について 2 （仮称）地域協議体のモデル地区（南部地区）について 3 モデル事業について 4 自治会・町内会 個人情報保護の手引き（構成案）について |
| その他 | (1) 次回検討委員会開催日について |
| 会議資料の名称 | 資料1 西東京市自治会・町内会現状調査（平成25年度） 資料2-1 （仮称）地域協議体の参考事例について 資料2-2 先進自治体のヒアリング結果概要 資料3 （仮称）地域協議体のモデル地区（南部地区）について 資料4 モデル事業について 資料5 自治会・町内会 個人情報保護の手引き（構成案）について 南部地域の自治会・町内会分布図、南部地域の主要施設分布図 |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |
| 会議内容 | |
| <p>1 開会</p> <p>事務局： 第2回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。まず、本日の議題を確認させていただく。 議題の確認 次に、資料の確認をさせていただく。 会議資料の確認</p> <p>2 報告事項</p> <p>委員長： 事務局より報告事項についての説明をお願いしたい。</p> <p>報告事項1 自治会・町内会現状調査（平成25年度）について 事務局：</p> | |

7月1日に人事異動があり、協働コミュニティ課の田中課長補佐兼係長が職員課に異動になった。後任は江藤係長となる。担当については、八巻主事のほか、今年度より賀陽主事も担当となる。また今年度から、関係各課も同席することになる。

委員長：

前回欠席の委員より自己紹介をお願いしたい。

委員：

お役にたてるよう頑張りたいと思う。

委員：

新町地域包括支援センターで社会福祉士をさせていただいている。

委員長：

事務局から資料1について説明願いたい。

事務局：

平成25年度の自治会・町内会の現状調査を実施した。今年度からは、文書をお送りして、会長が変更になったかどうかを把握した。

現在のところ組織数は231となっている。昨年度から新規に登録した組織が4組織あり、5組織が解散や回答拒否などがあったため、マイナス1となった。

委員長：

資料の表の右側は内数なのか。

事務局：

その通りである。公表に同意しない自治会・町内会の数もだいぶ減り、自治会・町内会とつながりを持つことで、公表に同意していただけるようになったものと思う。

委員長：

資料について何か意見はないか。無いようであれば、議題に移りたい。

議題1 (仮称) 地域協議体の参考事例について

委員長：

まず、議題1 (仮称) 地域協議体の参考事例について事務局から説明願いたい。

事務局：

資料2-1、2-2について説明

委員長：

今年度、西東京市ではモデル事業を実施したいと考えている。仮称ではあるが、地域協議体を設置したらモデル事業を実施しやすくなるのではないかと考えている。地域協議体の設置に当たっては、類似の取り組みを行っている都市の事例を参考にしてみてはどうかということで、資料 2-1 がある。

また、一番西東京市で参考になるのが所沢市であると考え、担当者にヒアリングを実施してきたものが資料 2-2 である。

事務局において、資料 2-2 で強調したい部分はあるか。

事務局：

所沢市では、公民館と支所や出張所の機能が一つになったまちづくりセンター設置を地域ネットワークの取り組みと同時並行で行ってきている。

委員長：

何か意見があるか。

事務局：

これらの事例については、議題 2（仮称）地域協議体のモデル地区についてのところで議論の参考にしていただければと考えている。

議題 2（仮称）地域協議体のモデル地区（南部地区）について

委員長：

それでは、先進事例を踏まえて、西東京市ではどう考えるべきか議題 2 について事務局より説明いただきたい。

事務局：

資料 3 について説明

委員長：

資料 3 について説明があったが、何か意見はないか。

西東京市がモデル地区として事業を実施しようとしている南部地区は、様々な組織があり、何かをやるには条件がそろっているのではないかとということで選ばれている。実際にどのようなことをやりたいのかを示したのが資料 3 の 2 ページ目に示している。

事務局：

南部地域の主要施設を落とし込んだ地図も併せてみてもらいたい。開催場所、選出母体等の議論の参考にしてもらえればと思う。

実際に南部地域において話し合いをするような場として、たとえば小中学校の空き教室や公共施設

等が使える可能性もある。そうした場を確認する意味でもこの地図を参考にさせていただければと思う。

委員長：

具体的に地域協議体の会合の進め方や場所などについて議論してほしいということか。

事務局：

参加する地域組織の候補として資料 3 にあげさせてもらっているが、参加候補で何か加える組織があるかどうか、また、会合の場所や運営の仕方についても事例を参考にしながら、話を進めていただければと思う。

委員：

今回実施する南部地区での（仮称）地域協議体について、参考事例である所沢市と地域協議体とで似ているところ、所沢市でうまくいっているところ等、南部地区の参考になるようなところをもう少し説明してもらいたい。

事務局

所沢市においても、西東京市と進行具合は同じ状況である。若干先に行っているといったところである。所沢市の人口は 34 万人だが、地区ごとにみた場合、各地区で 3.1 万人であり、西東京市の各地区 4 万人と地区レベルの人口は同規模であり、参考になるのではないかと考えた。

参加している組織についても、地域防犯協会、消防団、地元商店、自治会・町内会等の地縁組織が参加して協力して地域ネットワークづくりを進めている点が、西東京市が目指そうとしているところに近いのではないかと考えている。

所沢市では、地域によってもともとあったネットワークで十分だと考えている地域と積極的に連携の枠組みをつくらうという地域があったため、既存の自治会・町内会を母体に地域ネットワークをつくるのか、新しい組織をつくるのか、地域の望む形で地域ネットワークの組織づくりを行っているようである。

委員長：

もともとあったネットワークとは、何を指すのか。資料②-2 に示されている地域福祉ネットワークのことか。

事務局：

資料 2-2 に示されている地域福祉ネットワークは、西東京市でいうところのふれあいのまちづくりである。所沢市では、地域福祉ネットワークと地域ネットワークとの関係をどうすべきかが課題となっている。

委員長：

もともとあったネットワークとは、何を指すのか。

事務局：

先ほど申し上げたネットワークとは、既存の自治会・町内会等の連携である。

委員長：

何年度から実施されているのか。

事務局：

この取り組み自体は平成 23 年度である。

委員長：

まちづくりセンターの動きと同時期におこなわれていたということか。

事務局：

その通りである。

委員長：

既存の組織等を活用してネットワークづくりをしていくところが西東京市と似ているのではないかと
ということだと思う。ただ、西東京市と違うのは、所沢市ではしっかり拠点をつくっているところ
である。地域活動を進めていくには、拠点が必要なのではないかと考えている。西東京市の場合
はそれがないので、西東京市が所沢市の事例を参考にするならば、そのあたりがキーになるの
ではないかと思う。

学生もそうであるが、何か活動を行う時、たまる場所が必要になる。資料 3 には、会場場所の候補
があるが、基本は市の施設を活用するのが一番良いのではないかと考えている。地域の人の寄
合いができる場所が良いのではないかと思う。

委員：

協議体の運営は誰が行うのか。

事務局：

最初のうちは市のバックアップが必要なのではないかと思う。基本的には地域の方で対応して
もらうのが（仮称）地域協議体の趣旨ではないかと考えている。

委員：

事務局は地域でやるということか。

事務局

運営や会議の進め方については、市で示していく必要があると考えている。

委員：

そのあたりははっきりさせておいたほうがいい。どこが運営するのか。

事務局：

当面は市が応援しないといけないと考えている。最終的には、自治運営を行ってもらう。それを今後目指していくことになる。

委員長：

メンバーに、武蔵野大学代表者となっているが、学長が来るわけにはいかないと思うので、どういう担当の人なのか、そのイメージはあるか。

委員：

何をやりたいのかという目的にもよると思う。

委員：

課題は様々なものがあるはずである。各団体の代表者一人の人で決めるのはよくないのではないか。

委員長：

モデル地区を南部地区につくるのはいいが、この 2 年間の会合で、地域の何をやりたいのかが見えないから議論が進まないのではないか。

南部地域で何をやりたいのか、資料④を説明してもらったほうが良い。

議題 3 モデル事業について

委員長：

それでは、事務局より説明いただきたい。

事務局：

資料 4 について説明

委員長：

モデル事業のメニューで挙げられている 3 つの取り組みのうち、委員会でカバーしなければならないのはどれか。

事務局：

メニュー1 および 2 は事務局で行う。

委員長

それではメニュー3をやるという理解で良いか。3を20名でやるというイメージか。メニュー3がうまくいけば、地域で自主運営してもらおうというイメージか。南部地区全域でやるのか。

事務局：

南部地区の中で、小学校区単位で行う。第1回目に地域の方の顔合わせを行うとともに、地域の課題を話し合い、モデル事業の実施方法の検討等を行えればと考えている。

委員長：

モデル地区の中でモデル事業をやるのではなく、課題出しから行うということか。1から課題出しをするのか、ある程度決めたものを進めるのか、事務局としてはどう考えているのか。

○事務局：

2回しかないため、ターゲットを絞ってやらないといけないと考えている。

委員長：

どちらかに絞ってやらないと、いまから組織づくりを進め、会合を行い、モデル事業をやるとなったら、時間がない。

事務局：

ターゲットを絞って行う。

委員：

自治会がたくさんある中で、自治会の代表者をどうするか。

委員：

2回しか行わない会合の合間にモデル事業を実施することになっているが、モデル事業の参加者は、2回の会合に出る人とは限らないということで理解してよいか。南部地区はすごく広い。様々な団体が遠い地域のことについて何が言えるのか。実際のモデル事業にどうつながるのか、事務局は見えているのか。

委員：

南部地域をもっと絞ったらよいのではないか。西東京市は、避難所運営協議会も開いており、その協議会との関係もある。学校の立場から言えば、そのあたりの関係をどうするのが気がかりである。

メニュー3を実施するにあたってターゲットをどこに絞って行うのか。たとえばある中学校をエリアにするならば、そのメンバーの方が参加すればよいと思う。それがうまくいけば、隣のエリアに伸ばしていくという考え方もある。

理想はわかるが、どこからどう手をつけてやっていいかわからない。

委員：

南部地区の自治会・町内会だけでも 79 あるのに、そこから代表をどう選定するのか。難しいのではないかと。自治会・町内会を調べている間に、連合の組織化の意向はどうだったかを聞くべきであった。

委員長：

事務局としてメニュー3をやりたい地域があって、その 20 名を選んでくるというイメージか。南部地域全体で 20 名というイメージか。

委員：

先日、ほっとネットの南部地区代表を選んでほしいという依頼があったが、適任者は誰もいなかった。ほっとネットでも選べない中で、地域で混乱してしまうのではないかと思う。人材をどう選出するのか大きな問題である。

生活福祉課：

ほっとネットは小学校区ごとで区切っており、(仮称)地域協議体とは異なる。

委員長：

色々な組織ができると大変だろうということで、色々な立場の人が入り、できるだけ投げる球を少なくしたいということでこうした協議体の形成を目指したものと思われる。

議論が交錯しているところもあるが、前に進んでいかないといけないので、落とし所は見つけないといけない。事務局として落とし所をどうするか。

南部地区全体でアクティビティをやろうとすると大きすぎるので、小さい地域で行うべきではないかという意見が出ている。大きい地域で進めようとする、意見集約もできないのではないかと。あまり最初から欲張ってはダメなのではないかと感じている。

一方で、小さい組織をあえてつくらないのは、こうした取り組みを受け入れられる地域と受け入れられない地域があるためであろう。ただし、大きい地域で問題を投げかけて活動しましょうという形で協議体をつくるとなると、焦点が定まらないと思われる。

事務局：

協議体は南部地区全体でつくり、モデル事業は、ある程度エリアを絞ってやっていくという意味か。

委員長：

事務局として、そのような案があるか。それがなければ、南部地域全体でといわれても、難しいという回答が返ってくるのではないかと。

委員：

8 月下旬に、総合防災訓練の実施が決まっている。限定的な地域の方が集まってやるが、それに似たことをモデル事業でやるのかと思った。エリアが大きすぎるとできないと思う。

委員長：

事務局として本日決めないといけないことは何か。

事務局：

南部地域全体で協議体に参加する母体数を決めないといけない。

委員：

20名は難しいのではないかと。

副委員長：

今月、4地域ごとに人を集めることになっているが、そのことと、協議体の1回目に行くことが似ている。今月4地域ごとに人を集める際に、協議体の話をするのか。

事務局：

今月末と来月頭に自治会・町内会の方々に集まってもらって懇談会を行う予定である。

副委員長：

集めるエリアは4地区ごとというイメージか。

事務局：

その通りである。ただ、この懇談会は、自治会・町内会のみを対象にしたものである。連合はないので、将来を見越して、まずは顔合わせをすることにした。

副委員長：

今回集めることになっている自治会・町内会にさらに他団体が加わるイメージということか。何を第1回目にやるのかによって、人数の絞り込みもできるのではないかと。

事務局：

20名程度であれば議論ができるのではないかとということで資料には示している。ただ、これもあくまで案なので、それが難しいということであれば、再度検討しなければならないと考えている。

委員：

組織化されているところは、代表を決めて、地域の方の意見を集約できると思うが、組織化されていない地域ではなかなか難しいのではないかと。

委員：

昨年の保谷小で行ったワークショップでは、近隣の防災施設を回る等、非常に良い取り組みであっ

た。ただ、メニュー3を他地域の方が来てやるというのは難しいのではないかと思う。ワークショップを行うというのであれば、その地域の人を巻き込んだほうが良いのではないか。

委員：

モデル事業を広めていくということであれば、協議体は、モデル地区を土台として議論してもらえ
るような会にしたらいいのではないか。

委員長：

協働コミュニティ課として、西東京市全体で行っていく施策と、この委員会でやっていく目標、施
策は何か。協働コミュニティ課の目標を実現するためにワークショップをやっていくのか、そのあた
りの線引きをこの場では全部決められない。

委員：

協議体の運営は、協議体自体が自主運営するということだという話なのだから、協議体を作って集ま
って、そこでどうするか決めたらいいのではないか。

委員長：

今回の会議で混乱した要因の一つにモデル地区とモデル事業という用語について、同じ「モデル」と
いう表現を使っているところがあると思われる。用語がつかわれている。モデル事業の中に、急に市の
施策が入ってきている。この委員会として絞って投げてもらわないといけない。

事務局：

西東京市地域コミュニティ基本方針の中で、地域協議体のイメージ図を協議体の組織図として捉えて
いた。この中に示されているメンバーを集める際に、南部地域では広範すぎるということか。

副委員長：

これを連合のない西東京市がいきなり集めるというのは難しいと思う。しかも呼ばれた人たちは、ど
んな会議なのか、どういう目的なのか良く分からないと思う。

よく地域の方からは、似たような会議が多いので、西東京市のほうでしっかりと調整してほしいとい
われる。そうした調整を行ったほうがよい。調整したうえで、目的を考えたら、やったほうがよい。
何も完成しない気がする。

事務局：

各分野で同じような協議体があるにもかかわらず、さらに同じような協議体をつくる意義や目的が分
からないということか。

副委員長：

つくってもいいとは思いますが、今のままでは、地域の方に、なぜつくったのかと思われると思う。

委員

4地区という分割単位ではあまりに大きすぎるので、自主化するのは無理だと思う。モデル事業を小学校区単位でやるから自分たちでやるしかないという風に思わせながら積み重ねていくことが重要である。

委員：

3.11以前と以後では、都民の意識が異なる。3.11以前は、防犯の意識が高かったが、3.11以後は防災意識が高まっている。

テーマを防災にして、南部地域を半分ぐらいにしてやってみるのも良いのではないか。

委員：

協議体を課題解決のための組織としていくのは難しい。地区全体の共通課題を集まって話をして初めて様々な問題・課題が浮かび上がってくるのであって、最初から課題解決を行うというのは難しいのではないか。

委員長：

理想論はゆっくり時間をかけていけばいいと思う。ただし、短期間で時間が求められている場合は点で勝負しなければならない。その場合、具体的に地域を決めて進めないといけないのではないかと思う。そのあたりの整理をしてもらい、今後の議論の方向性を決めてもらえればと思う。本日は、結論は出ないと思う。

議題4 自治会・町内会 個人情報保護の手引き（構成案）について

委員長：

事務局から説明願いたい。

事務局

資料5について説明

委員長：

都の担当の方も説明に来てもらえるということで、一度勉強できればと考えている。

4. その他

1 次回検討委員会開催日について

委員長：

次回の検討委員会は、事務局で調整いただければと思う。